生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の免疫関連因子と早期増悪に関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断された患者さんにおいて、早期増悪（初回の薬物療法で奏効が得られない、または奏効が得られても早期に再発する）を認めた場合にはその転帰は不良であることが報告されています。早期増悪の関連因子に関してはまだ明らかになっておりませんが患者さんの免疫関連因子が早期増悪に関わる可能性があり、患者さんの予後予測、治療戦略の構築に有益となる可能性が考えられます。今回免疫関連因子が早期増悪に関わるか否かに関し、カルテデータを用いて検討を行います。また、生検標本を用いたリンパ腫細胞周囲の免疫環境についてもあわせて検討を行います（追加染色、解析について発生する費用は全て研究費を用いて行わせていただきますので患者さんご家族の負担は一切生じません）。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2015 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に附属病院、第三病院、柏病院にて診断され薬物療法を受けた 20 歳以上のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さん。調査対象期間は 2015 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までとします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	既存の生検標本を用います。	
	(2) 試料の取得の方法	通常の診療内で採取させていただいた既存試料を用います。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療法、治療効果、転帰	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科
		氏名	瓜生　英樹
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024 年 7 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　内科学講座　腫瘍・血液内科 研究責任者：助教　瓜生　英樹（うりゅう　ひでき） 窓口担当者： （附属病院）：助教　　瓜生　英樹（うりゅう　ひでき） （第三病院）：助教　　福島　僚子（ふくしま　りょうこ） （柏病院）：助教　　石井　敬大（いしい　けいた） 電話番号： ・本院　03-3433-1111（内線 5983） ・第三病院 03-3480-1151(内線 3467) ・柏病院 04-7164-1111（内線 2208） 対応時間：平日 09：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。